

# 幼珠連通信

全国幼児珠算教育連盟  
発行人 大西信二

## 逆さ仏現象

会長 井上 文克

お陰で、今月満87歳になりました。私が健康に関していつも参考にしている日本総合医学会永世名誉会長 医学博士 沼田 勇

先生(1911年生、現役内科医)の著書の中で食生活の変化と健康状態の変化を知って驚いたのでお知らせしたい。それは古守豊甫博士によって昭和30年代になされた報告である。

古守博士は昭和13年に埼玉県ゆずりはらの県境、山梨県北部留郡ゆずりはら 原村に教師として赴任。後に医師となり同村民の健康状態に着目。同村に昭和29年、バスが開通してから、若い人達に現れた食生活の変化と健康状態の変化を知り、研究調査の報告をされている。橋が架かり、トンネルが出来、バス路線ができるまでは、ゆずりはら 原の人達は、先祖代々、その土地で培われてきた大麦、とうもろこし、小粒の馬鈴薯など山村でとれた穀物、野菜食を食し、肉や砂糖など、祖先の食べていないものを用いることはなかった。バス路線が出来、人達の出入りが容易になるにつれ、30、40、50歳の働き盛りの人々の間に、老人病たる生活習慣病が目立ってきた。しかし、70、80、90歳の老人の間には、別に変化もなく、従って生活習慣病の如きは少なかった。中風の孫を爺さんが看病する、いわゆる「さかさぼけ逆さ仏」と称する現象が見られるようになったということである。

最近、「逆さ仏」とは、ブラジルのサンパウロに住む日系人社会で問題になっている現象で、それは三世が死に、二世の葬式を出してから、一世が死ぬことを意味する。

ブラジルは肉がきわめて安いので、一食に約1キロも食べ、シラスコと称する野外宴会を頻繁に催しては、牛の丸焼きを3キロ前後も平らげる。そういう肉の多食によって40、50歳代の働き盛りの人々が心筋梗塞のためにバタバタと倒れ、日系の二世、三世も、その習慣に染まって、「逆さ仏」現象を起こしているのだそうである。

その現象がゆずりはら 原の調査例だけでなく、日本各地にも見られるようになってきたのは、何と嘆かわしいことであると、沼田勇先生が食養学講座で述べられている。聞くところによれば、昭和40年代のハワイの日系社会でもこの現象があったそうで、我が国では、食に関して、どのようになっているのか、気にかかることである。

## 外国人が観る「そろばん学習」

### 「外国人のための珠算講座」の修了生徒の声

大阪の珠算界で話題の一つに「外国人のための珠算講座」があり、(社)大阪珠算協会の先生方により20数年前から取り組んでおられます。

そろばんのはじく音に混じって聞こえる、日本語と英語。「テンダラーズ(\$10) エイティーンダラーズ(\$18)」・・・。円の代わりにドルで読み上げ算の声・・・。

大阪商工会議所において、毎土曜日午前中、「外国人のための珠算講座」として、世界各国から日本で留学する外国人の方々を集い、珠算の指導が行なわれています。

今年で23年目を迎えますが、その本年度の修了証書の授与式が2月22日新大阪のメルパルクホールにおいて行なわれました。各国の受講者を代表してブルガリアのペロニカさん(神戸大学法学部留学生)に珠算講座終了証書が授与されました。

授与後、日珠連森友建理事長の司会で26名の受講生の中から4人の受講生にインタビューをされ、珠算教育についての感想を聞かれました。

まず、パプアニューギニアからの留学生エステラさん(大阪大学大学院生)は、「そろばん学習は非常にシステムマッチで論理的であり、計算が分かり易く、計算の流れが目で見えるみことができ、実に楽しい。」と、司会の流暢な英語での質問に、そろばん学習の計算の過程を強調して答えられました。

二人目のインドネシアの留学生リマ・マルビン(大阪大学工学部3回生)は、「そろばんを練習することにより暗算能力が高まること、集中力が得られること、日本の典型的な伝統文化を学べること、さらに脳の開発に効果があること。」と、そろばん学習の数々の効用を語った。

三人目のブラジルのマルセロさん(大阪大学大学院博士課程)には、司会者の「現在の科学万能の時代に、なぜ、そろばんを習得するのか？」との質問に、「人間はコンピュータを毎日使用し続けると、何か大事なものを失っているように思う。しかし、そろばんを使って計算すると、逆に何か大事なものを習得できる感じがする。正に、コンピュータを使い続けると人間性を失っていくようにも感じ、それに対し「そろばん」では自分の持つ人間力をフルに使って計算できるので、とても安全で有効的な技術だと思う。」と、コンピュータ社会での人間の能力について、警鐘をならす、実に良い発言であった。

四人目はブルガリアからの留学生ペロニカさん(神戸大学法学部)に、司会者から「そろばんは、貴女にとって何ですか？」と、尋ねたところ、「そろばんは自分のベストフレンドの一人です」と、爽やかに答えられた。

知識層にある外国人が珠算を習得し、そろばん学習の感想の言葉に、当日、優良生徒表彰式に参列の生徒、保護者には、改めてそろばん学習の重要性を感じられたことでしょう。一般に、日本人はそろばんがあまりにも身近にありすぎて、その真の意味が理解されていないように見え、さらに、コンピュータ器機に依存していると、人間本来の能力が減退するという発言には、私達は真剣に考えねばならないことでしょう。

私達は、人間本来の考えるという機能を疎かにして、ただ便利さのみを追求する社会構造の流れを反省しなければなりません。

外国人受講生から珠算教育の大切さと共に色々と教えられた有意義な終了式であった。

## 2009年度全日本ユース珠算選手権大会のご案内

大会実行委員長 金本 和裕

すでにご案内の通り、4月19日に2009年度全日本ユース珠算選手権大会を開催します。昨年初めて開催しましたが、各方面から高い評価をいただきまして第2回目を実施する運びとなりました。

今回は京都珠算振興会と立命館小学校を共催団体としてお迎えし、さらに価値のある大会へと発展させるべく、現在準備を進めております。

3月23日に申込受付を開始しますので、大会出場をお考えの先生方はお早めにお申し込みください。定員200名をもって締切りとなります。また当日の観覧も事前申込が必要となっておりますので、ご希望の皆様は幼珠連事務局までお問い合わせください。「頭脳スポーツとしてのそろばん」が目前で繰り広げられる様をどうかご堪能下さい。

主催：全国幼児珠算教育連盟 共催：京都珠算振興会・立命館小学校  
後援：日本珠算連盟・(社)全国珠算教育連盟・(社)全国珠算学校連盟 他  
協賛：パナソニック(株)・パナソニック珠算部・森本印刷

## 2009年度全日本ユース珠算選手権大会

時：4月19日(日) 受付：11時15分 正午開会 午後4時閉会予定

所：立命館小学校 体育館 京都市北区小山西上総町22

京都市地下鉄「北大路駅」下車3分 TEL：075-496-7777

参加資格：① **アンダー10** (4月1日現在の満年齢が10歳以下)

② **アンダー12** (4月1日現在の満年齢が12歳以下)

③ **アンダー15** (4月1日現在の満年齢が15歳以下)

参加料：1名2500円(郵便振込「00990-6-172644 星の郷総合教室」)

参加申込：別紙申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで3月23日(月)から3月28日(土)までにお申込み下さい。但し、定員200名で  
め切りです。参加申込以前の分は受け付けません。

〒576-0022 大阪府交野市藤が尾4-15-20

星の郷総合教室 金本和佑 TEL072-895-6230

問題程度：(総合競技・種目別競技とも個人競技で、問題は整数のみ)

かけ算 5桁×5桁 30題 5分

わり算 ÷5桁=5桁 30題 5分

みとり算 6桁15口 15題 5分(加算9題、加減算6題)

かけ暗算 3桁×2桁 3桁×3桁 4桁×3桁 各10題 2分

わり暗算 ÷2桁=3桁 ÷2桁=3桁 ÷2桁=3桁 各10題 2分

みとり暗算 3桁10口・15口・20口(加算9題、加減算6題)各5題2分

各種目150点満点 計900点満点

注意事項：コンマ不要。一字訂正無効。消しゴム使用不可。欄外への書き直しは矢印か番号が必要。

体育館シューズなどの上履きをご準備下さい。(選手・引率者・観戦者)

詳細と大会申込書はホームページ URL:<http://www.osakasyuzankenkyusyo.com>に掲載

# 珠 眩

しゅげん - 65 -

## 心の知能指数を高めて教室運営を！

「我が教室には競技会に参加できる生徒はいない！」「競技会の練習を始めたところで我が教室は続くわけがない！」。

これらはマイナス志向の言葉です。

こういう言葉を言っているその時は、「自分がマイナスの言葉を発している」とは、気づかないことが多いものです。

指導者のやる気が最も大切なのは、気持ちの前を向き、体を前に出している前進の状態ではないでしょうか。

心の知能指数には人の意欲の高さを示す指数もあります。意欲の高さというのは、その人の持つ資産であり、「こんなことをしたって何になる！」としている人は、いわゆる薄っぺらい人間でしかないとと言えるでしょう。

その人の能力の限界はもちろんありますが、その人は自分の限界のずっと手前で「できない」壁をつくってしまっていることがあります。

できない壁は、本当に能力の壁ではなく、自分の意識の壁なのです。希望や創造性というのは、まず意欲がないと生まれないものです。

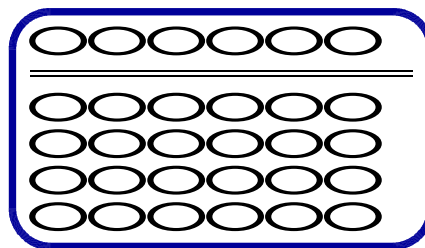
私達の教室でも教室を活性化させ、生徒の学習意欲を高揚させることが必要なことです。そのために、生徒の能力を高めるには検定練習とあわせて競技練習を行なうことも必要なことです。教室に入学するどの生徒も最大限にその能力を伸ばせるように指導することが指導者としての務めではないでしょうか。検定試験の合間には、競技会の練習などを行い、生徒の能力を高めたいものです。

さらに、新しい学期を控え、私達は教室を活性化するために積極的に生徒募集を行うことも必要です。そのために、「チラシ」を用意したり、「ポスター」を作成したりする準備も必要でしょう。PRしても教室への反応がスグあるとは限りませんが、その教室の指導者の姿勢がやがて、その反応が教室へ帰ってくるものです。

教室を活性させるには、「できない」とする指導者自身と、「今よりよくなろう」とする意欲的な指導者自身の心の戦いであると言えます。

その指導者の心の持ち方が、今後の教室運営に大きな影響を与えることでしょう。

## 「暗算指導」 - 8



### ⑧ 3桁のかけ暗算(法2桁実4桁)

1. 指導の第一歩：最初は部分書きから始めさせ、問題になれてきたら、一度書きへと移行する。

計算スピードを上げるに 最終的には一度書きで計算させるように指導する。

### 2. 指導の第二歩：部分書きの方法(法実あわせ6桁の問題)

計算の④の段階で頭数を書き、写像から消して計算を進め、⑤～⑦の段階で次数を書き、後は4桁を書き入れる。(以下はA法)

例題	4, 268 × 39 =	12	① 12
		36	② 156
		ガ6	③ 162
		18	④ <u>1638</u> 1を書く
		18	⑤ <u>1656</u> 6を書く
		54	⑥ <u>16614</u>
		24	⑦ <u>16638</u>
		72	⑧ <u>166452</u>

0のある問題や0になる問題の計算は指をつけて、右へ次の計算を加算します。問題に慣れれば、指付きをしなくて計算ができるようになります。暗算での計算も「速く」「正しく」を心掛けましょう。

4, 268 × 39 = の問題は④の段階で頭数、⑤の段階で次数を書き、後は4桁を書き込む。

### ⑨ 3桁のかけ暗算(法4桁実2桁)

1. 指導の第一歩：最初は部分書きから始め、問題になれてきたら、一度書きへと移行する。計算スピードを上げるために一度書きで計算させるように指導する。

### 2. 指導の第二歩：部分書きの方法(法実あわせ6桁の問題)

計算の⑤の段階で頭数を書き、写像から消して計算を進め、⑦の段階で次数を書き、後は4桁を書き入れる。(以下はA法)

例題	74 × 3, 869 =	21	① 21
		56	② 266
		42	③ 2702
		63	④ 27083
		12	⑤ <u>28283</u> 2を書く
		32	⑥ <u>28603</u> 8を書く
		24	⑦ <u>28627</u>
		36	⑧ <u>286306</u>

6桁の珠が定まらない内は答えの部分書きをしますが、練習を繰り返すと、やがて6桁の珠が定まります。珠算と同様に暗算も繰り返し練習をすれば、暗算力を大きく伸ばすことができます。

例題の問題は⑤の段階で頭数、⑥の段階で次数を書き、後は4桁を書き込む。

## 小学校支援活動の指導内容報告

大西 信二

今年も当地域の小学校、14校から教材の申込と珠算指導者派遣の要請があり、当地区の会員が手分けして各小学校へ支援活動に当たりました。その支援活動の指導内容について、私が担当した小学校での概況を報告します。

団地内にある小学校でそろばん学習を対象とする3年生136名、各クラス34名で4クラスを3日間で、クラス毎に午前中の4時間で指導することを小学校と電話で打ち合わせた。

3月2日(月)午前8時半、校門で3年学年主任のお迎えを受け、校長室に案内される。校長と名刺交換の後、小学校支援活動の概況について会話を交わす。また、当校には「生徒用のそろばん」の用意がなく、大阪府連から借用して持参してきたので、「そろばん」は教具として、学校で是非設置していただくことを要請する。

さらに、各クラスの担任の紹介をうけ、当校の生徒の状況を聞き、指導計画を立てる。

午前8時45分、第1時間目は3組のクラスから授業の開始となる。担任の先生から紹介を受け、元気な生徒達と朝の挨拶をする。この教室では二人の日直さんが前に整列して、「只今より一時間目を始めます！」と元気な声で開始の言葉。生徒達から元気をもらう。

まず、生徒全員に当協会編集の「初歩入門」の小冊子と用意した「そろばん」を配り、担任と補助の先生方に助手として指導に加わっていただき、そろばん授業の開始となる。「そろばん」を初めて見た生徒は十数人を数え、「そろばんの起源と歴史」を少しふれ、「そろばんの持ち方・払い方」「そろばんの名称」「指の使い方とそろばんへの布数」について7～8分程度をかけて説明、生徒には実際にそろばんの盤面に数を布数させてる。

続いて、一珠の加減算は、「たす時は親指、ひく時は人差し指」と“きまり”で計算する。まず、一珠のみの1桁添入排開問題を20題の練習問題で行ない、さらに出来る生徒には補則問題20題を行なわせる。答え合わせは、答えを読上げ、生徒は自己採点させる。生徒の「100点」「95点」「90点」と全員の手が上がり、「合格」と宣言して、次ぎに進む。五珠の添入排開問題を「たす時も、ひく時も人差し指」で20問を計算し、採点する。さらに、全員が目の前に右手をあげて読上暗算を行い、簡単な問題を全員が正解、しっかり褒めて一日目の授業を終了する。珠を頭に浮かべて計算することを知ったようだ。

二日目は、五珠と一珠を同時に加算・減算する問題を学習する。加算は「ひとさし指とおや指で同時にはさむ。」減算は「人差し指で一珠を払い、おや指で五珠を払う」で1桁の練習問題20題を計算。答え合わせの後、2桁の練習問題20題を計算。できる生徒には補足問題として3桁、4桁の転入排開問題を行い、どの生徒にも満足感得られるように努める。どの生徒も指の動きはスムーズに行なわれるようになり、生徒の表情の明るさに教育効果を感じる。2日目の終了間際にも読上暗算を行い、全員が正解して授業を終了。

三日目は五珠の合成分解計算問題の説明に入る。大そろばんの説明した問題を生徒はそろばん計算する。まず、5題の加算練習問題を行ない、できる生徒は2桁、3桁の補足問題を行なう。次ぎに減算の問題を説明して同様に行なう。続いて10の合成分解の問題を大そろばん説明し、生徒はそろばん計算しながら理解させる。10の合成分解問題も各5題ずつ行い、答え合わせをした後、得点毎に挙手させる。最後は、読上げ暗算を行なって三日目の授業を終了となる。どの生徒もそろばん計算で1桁の簡単な問題を計算でき、5の合成分解問題・10の合成分解問題も理解したようである。3日間で感じたことは、そろばん式暗算を理解した事と生徒・先生方がそろばん学習に関心をもっていたことが何よりの喜びである。

## リズムで書こう！ 美しい文字を

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

「かな」や「漢字」の美しい形は、正しいリズムで書いたとき自然と出来るのです。文字を書く時の「リズム」って、一体なんだろう？ Rhythmを辞書で見ると、律動、規則的な循環、運動とある。運筆の「遅速」もリズムに含まれるだろう。同じ速さで書くと、一本調子の表情のない文字になってしまう。文字を構成する点画を速く書いたり、遅く書いたりすると、表情豊かな文字になるだろう。

次に、文字を書くにあたって、文字夫々に、決められた規則的な運動がある。「運筆」と言う。止まらないで書く所を、止まってみたり、その反対の場合も然りである。そのために、文字は本来の美しい姿ではなくなってしまう。書道で「意連」という言葉がある。気持ちを続ける、その文字を構成する点画を書く時、次の点画に向かって、はねる、払う、でなければ、バラバラなまとまりの無い、緊張感の無い字になってしまう。3P方式における ①形 ②安定 ③リズムの三つの視点から文字観察の中でも、③番のリズムは特に、文字を書く上で重要なポイントであると思う。書写や書道でお手本を観て、形をまねる前に、その文字を構成するリズム(書きっぷり)をまねて欲しいものである。そのリズムの結果、その文字が出来たのである。人夫々に同じ人間でも顔が異なるように、書き手のリズムが微妙に異なるため、同じ字を書いても夫々に異なった表情の字になってしまうのです。書芸術は実に楽しいアートだと思いませんか。

## 「暗算競算問題集A」を発行

暗算能力を興味をもって伸ばすために、このほど、「暗算競算問題集」を発行することになりました。暗算の練習は各生徒の能力問題でもって行なっているのが殆どであり、時には、自分の能力以外の問題に接しさせ、興味をもたすことも大切と考えます。内容は、日珠連暗算の6級～1級までの問題を一冊の問題集とし、各頁に種目別に、暗算6級～暗算1級までの問題を10問ずつ掲載して、各生徒が短時間で暗算の練習をしやすいよう、興味を持って暗算力を伸ばしていただくように編集しました。

「暗算競算問題集A」 B5版 45頁 定価300円

内 容：日珠連暗算A(6級)・B(5級)・C(4級)・D(3級)・E(2級)・F(1級)

問題数：10回分で、各種目10題 解答付

種 目：かけ暗算・わり暗算・みとり暗算各10題

使用方法：①検定練習形式で：各生徒の暗算能力問題を制限時間1分20秒で計算。

※計算完了者はランク上の問題にチャレンジさせることができる。

②競算練習形式で：各生徒の暗算能力の各ランクの問題を計算。

※計算完了者には、時間を告げて、速さと得点で競わせる。

③速算形式で：暗算6級問題から1級問題まで、一斉に計算。

※制限時間を決めたり、一番出来 などで、得点を競わせる。

ご希望の方は、幼珠連事務局までFAX(06-6902-1022)で申し込みください。